【外皮性能】数量補正の使用方法

文書管理番号：1304-01

Q.質 問

数量補正の使用方法を知りたい。

部材設定一覧に表示されない部材を追加したい。

A.回 答

部材設定一覧に表示されない部材や箇所は、数量補正にて追加し、計算に反映させることができます。

操作手順

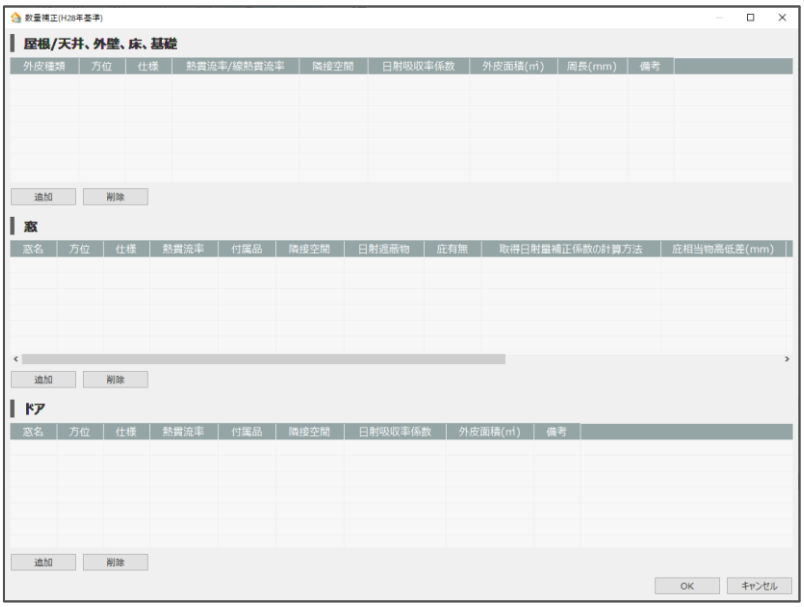
ここでは、「令和３年４月１日以降の仕様」で計算した場合を例に説明します。

① メインメニューまたは☰(クイックメニュー)から、(外皮性能計算)をクリック

② (数量補正)をクリック

＊ 「ツール」→「数量補正」を選択してもかまいません。

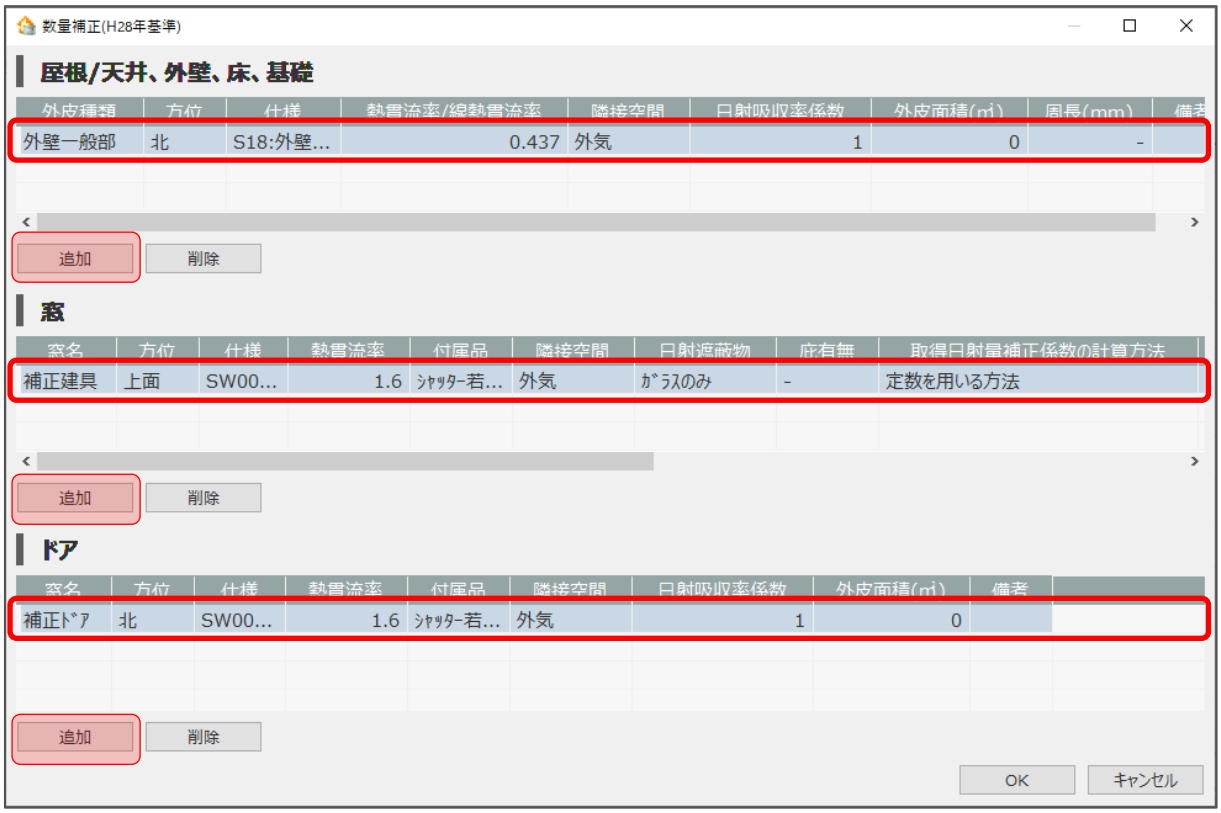
＊ 数量補正の画面が表示されます。



③　追加したい部位の表の下にある「追加」ボタンをクリック

＊　「屋根/天井、外壁、床、基礎」では、1 行が追加され、初期値（外壁一般部）が表示されます。

＊　「窓」または「ドア」では、「補正建具」または「補正ドア」の行が追加されます。



④　追加した行の各項目をクリックし、値を設定

＊　それぞれの入力箇所をクリックし、プルダウンメニューから選択または直接数値を入力してください。

面積等は自動計算されませんので、算出した値を直接入力してください。

- 屋根/天井、外壁、床、基礎の場合

[プルダウンメニューから選択]

・外皮種類、方位、仕様、隣接空間

[数値を直接入力]

・日射吸収率係数（外壁、屋根/天井の場合）、外皮面積、周長（基礎等の場合）

- 窓の場合

[プルダウンメニューから選択]

・方位、仕様、付属品、隣接空間、日射遮蔽物、庇有無、取得日射量補正係数の計算方法

[文字や数値を直接入力]

・窓名、外皮面積、庇相当物高低差、庇相当物水平距離、窓高さ（取得日射量補正係数の計算方法による）

- ドアの場合

窓名	方位	仕様	熱貫流率	付属品	隣接空間	日射吸収率係数	外皮面積(㎡)	備考
補正ﾄﾞｱ	北	SW0...	1.6	ｼｬｯﾀｰ若...	外気	1	0	

[プルダウンメニューから選択]

・方位、仕様、付属品、隣接空間

[文字や数値を直接入力]

・窓名、日射吸収率係数、外皮面積

＊ 「熱貫流率/線熱貫流率」は、選択した仕様のU値またはψ値が自動で表記されます。

＊ 「窓名」は、任意で変更してください。

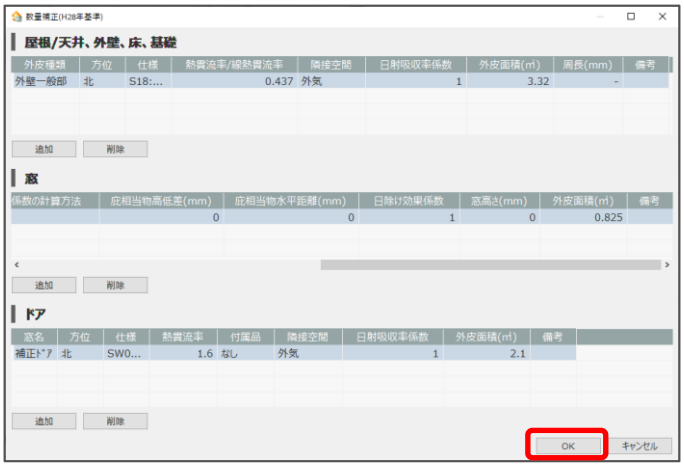
＊ 「窓」の「庇相当物高低差」「庇相当物水平距離」「窓高さ」については、「庇有無」を「有り」、「取得日射量補正係数の計算方法」を「簡易的に算出する方法」または「日除けの効果係数と斜入射特性を用いる方法」に設定した場合に入力してください。「庇有無」を「無し」や、「庇有無」を「有り」、「取得日射量補正係数の計算方法」を「定数を用いる方法」に設定した場合は入力できません。

＊ 開口部の取得日射熱補正係数の計算方法について、詳しくはこちらをご覧ください。

[1302]【外皮性能】開口部の取得日射熱補正係数の計算方法

⑤ 追加設定後、「OK」をクリック

＊ 数量補正の画面が閉じます。



【参考】

数量補正で追加した部材は、部材設定一覧およびリアルタイム 3D ビューアには表示されません。

また、部材の面積を減算したい場合は、部材設定一覧で、各部材の面積手動設定を自動計算から手動計算に切り替え、面積または計算式を修正してください。

⑥ (外皮性能計算)をクリック

＊　数量補正で追加した部材が、計算結果に反映されます。

【注意】

外皮性能計算で数量補正した部材は、次のように表示されます。

図面マネージャの選択図面編集または図面編集で、任意に編集を行う必要があります。

【部位に「*」が明記】

●UA 値ηAC 値計算表

・外皮平均熱貫流率（UA 値）計算表

・窓以外の日射熱取得量（冷房期）/窓の日射熱取得量（冷房期）

●ηAH 値計算表

・窓以外の日射熱取得量（暖房期）/窓の日射熱取得量（暖房期）

【別表で記載】

●部位別面積表（開口部等）

・外皮（数量補正）面積表

【数量補正分の追記が必要】

●外壁図、各種面積等根拠図

＊　数量補正を利用した具体的な計算方法については、こちらをご覧ください。

[1305]　【外皮性能】差し掛け屋根（招き屋根）の頂側窓の計算方法